

# 新耽奇会展——奇想天外コレクション

「新耽奇会」は、昭和三年（一九二八）から十一年にかけて全十二回催された好古家たちの集まりです。この会に集まったメンバーは、江戸の諸芸万般に通じた三村竹清と林若樹、丸善書籍部顧問をつとめた文芸評論家内田魯庵など昭和初期のいわば知の巨人たちです。そうした彼らが、アカデミズムが及んでいない庶民の生活のなかにある品々や海外からの物珍しい器物などを会に持ち寄り、考証を加えることで、新たな知の世界の探索をおこなっていました。



三村竹清「新耽奇会記録」

「新耽奇会」では、出品物の写生や拓本、考証をまとめた記録集を参加者たちが作成しています。本展示では、この記録集「新耽奇漫録」をひもときながら、会に持ち寄られた器物の実物や、参加者の関連資料をあわせて展示することで、「新耽奇会」の世界を再現します。同時に、「新耽奇会」の精神にならって、数万点にも及ぶ演劇博物館所蔵品のなかから、普段はなかなか展示する機会のない選り抜きの奇物を展示いたします。「奇」を愉しむ「新耽奇会」の魅力をご覧ください。



火浣布 早稲田大学図書館蔵



兼真幹筆 古製舟帽子 国立国会図書館蔵



本村兼俊筆 兼真 動物貝類標本 東京都立中央図書館蔵



瓦版 人魚図



ゴータク式赤染り 鬼



「ペルタイヌのぼろ」オスカルの衣装

## 【演劇講座】

日時 平成二十五年十一月十一日(月)

十四時四十五分—十六時十五分

(開場時間 十四時十五分)

会場 早稲田大学大隈講堂 小講堂(定員三百名)  
講師 中野三敏(九州大学名誉教授)

ロバート・キャンベル(東京大学大学院教授)

司会 児玉竜一(当館副館長)

入場料 無料(予約不要)

## 【同時開催】

「豊竹山城少撮展」

会期 九月二十一日(土)—十一月二十四日(日)

会場 演劇博物館二階 企画展示室I

「いまだ知られざる寺山修司」

会期 十一月二十六日(火)—平成二十六年一月二十五日(土)

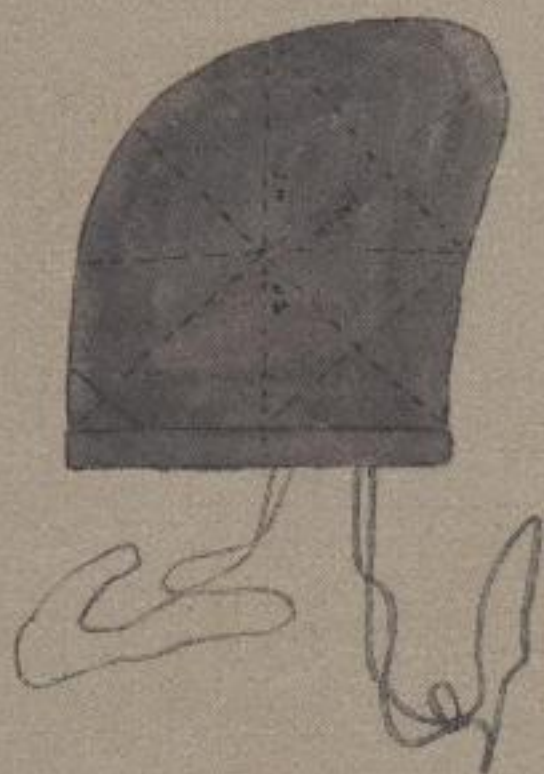
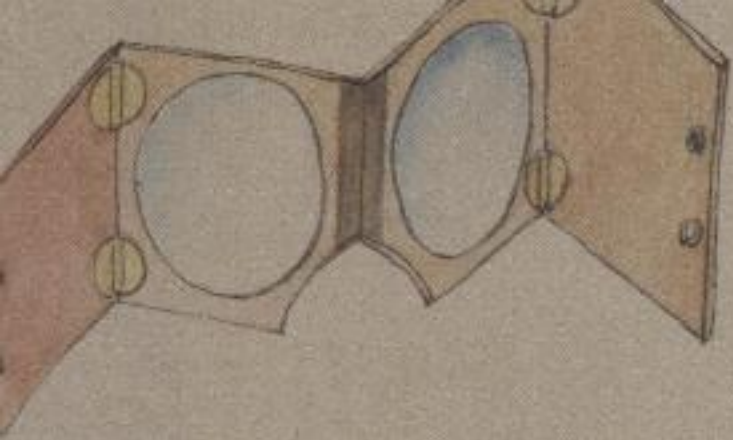
会場 大隈記念タワー(二十六号館) 一二五記念室

## 【交通機関】

- JR山手線・西武新宿線「高田馬場」駅から  
都営バス早大正門行き「早大正門」下車 徒歩約二分
- 東京メトロ東西線「早稲田」駅下車 徒歩約七分
- 都電荒川線「早稲田」駅下車 徒歩約五分







# 新耽奇湯録



開館時間 十時—十七時(火・金は十九時まで)  
 休館日 十月三十一日(木)  
 入場料 無料 ※会期中、展示替えあり  
 主催 早稲田大学坪内博士記念演劇博物館  
 協力 国立国会図書館、東京都立中央図書館、  
 文行堂、早稲田大学図書館  
 助成 芸術文化振興基金

新耽奇会展—奇想天外コレクション  
 平成二十五年十月十五日(火)—十一月三十日(土)  
 早稲田大学坪内博士記念演劇博物館

